

2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 アマノ株式会社
コード番号 6436 URL <https://www.amano.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 学
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画本部長 (氏名) 井原 邦弘
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 045-439-1591

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	125,916	16.8	15,209	20.9	16,332	21.2	12,187	34.0
2024年3月期第3四半期	107,791	16.8	12,581	40.2	13,470	36.7	9,094	44.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 12,861百万円 (12.3%) 2024年3月期第3四半期 14,670百万円 (25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	170.80	—
2024年3月期第3四半期	126.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	183,799	128,612	69.7	1,796.46
2024年3月期	184,585	128,103	69.1	1,779.42

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 128,060百万円 2024年3月期 127,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	95.00	135.00
2025年3月期	—	50.00	—		
2025年3月期(予想)				95.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	4.7	21,000	7.3	22,000	5.5	14,500	10.3	203.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 12「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	76,657,829 株	2024年3月期	76,657,829 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	5,372,860 株	2024年3月期	4,948,546 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	71,357,617 株	2024年3月期3Q	72,122,268 株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として保有する当社株式(2025年3月期3Q721,481株、2024年3月期793,884株)を含めております。また、各信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気後退懸念、地政学的リスクの高まり、各種価格の上昇や為替変動による影響など景気に先行き不透明な状況が見られるものの、企業の旺盛な設備投資意欲を背景に、緩やかな景気回復基調が継続しているものと考えられます。

このような経営環境下にあつて、当社グループは、2023年4月よりスタートした第9次中期経営計画において、「100年企業への4th Stageーサステナブル経営に繋がるパラダイムシフトへの取り組みー」を経営コンセプトに掲げ、各事業分野におけるDXを推進し、ソフト系資産やIoT、AI等への戦略投資等を実行するとともに、収益面においても競争優位性を更に高め、社会的な課題解決にも積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は125,916百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益15,209百万円（同20.9%増）、経常利益16,332百万円（同21.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,187百万円（同34.0%増）となりました。

(経営成績のポイント)

- ・アマノ単体は、パーキングシステムが新紙幣対応等の追い風を受け伸長したほか、情報システムも各社のシステム投資が旺盛でソフトウェアの伸長が継続。クリーンシステムも清掃ロボットが好調で増収継続。
- ・国内グループ会社は、駐車場管理受託事業が伸長、就業管理のクラウドサービス事業がアマノ単体への業務移管等により若干の減収。デジタルタイムスタンプ事業は好調継続。
- ・海外グループ会社は、円安効果もあり、北米、欧州、アジアともに増収。北米ではパーキングシステムが新製品効果により増収継続。欧州ではフランスの情報システムが顧客からのニーズを捉え増収。ただし、北米、欧州では、人員増加並びに人件費上昇により利益を下押し。一方、アジア地域では、韓国や香港でパーキングシステム、タイで環境システムが伸長。
- ・政策保有株式の縮減に伴い、投資有価証券売却益を計上。

事業部門別の経営成績は、以下のとおりであります。

事業部門別の状況

(単位：百万円)

区 分	2024年3月期 第3四半期連結累計期間		2025年3月期 第3四半期連結累計期間		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
(時間情報システム事業)		%		%		%
情報システム	24,830	23.0	27,610	21.9	2,780	11.2
時間管理機器	1,863	1.8	1,767	1.4	△95	△5.1
パーキングシステム	54,779	50.8	67,928	54.0	13,149	24.0
小 計	81,472	75.6	97,306	77.3	15,834	19.4
(環境関連システム事業)						
環境システム	16,512	15.3	17,726	14.1	1,214	7.4
クリーンシステム	9,806	9.1	10,882	8.6	1,075	11.0
小 計	26,319	24.4	28,609	22.7	2,290	8.7
合 計	107,791	100.0	125,916	100.0	18,124	16.8

時間情報システム事業

- ・情報システム = 「勤怠管理システム、人事管理システム、給与管理システム、入室システム、デジタルタイムスタンプ」
- ・時間管理機器 = 「勤怠管理ソフト付きタイムレコーダー、コネクテッドタイムレコーダー、タイムスタンプ」
- ・パーキングシステム = 「駐車場管理システム、駐輪場管理システム、駐車場運営受託」

当事業の売上高は、97,306百万円で、前年同期比15,834百万円の増収（19.4%増）となりました。事業部門別の状況は以下のとおりであります。

・情報システム 27,610百万円（前年同期比11.2%増）

国内は、アマノ単体がハードウェアは減収となったものの、ソフトウェア、メンテ・サプライともに増加し増収、アマノビジネスソリューションズ社が展開するクラウドサービスは減収。海外は、北米が減収、欧州が増収となり、全体では増収となりました。

・時間管理機器 1,767百万円（前年同期比5.1%減）

国内は、標準機、勤怠管理ソフト付きタイムレコーダーともに減収となり、全体でも減収、海外も減収となりました。

・パーキングシステム 67,928百万円（前年同期比24.0%増）

国内は、アマノ単体がシステム機器販売、メンテ・サプライともに増加し増収、駐車場運営受託事業を展開するアマノマネジメントサービス社は増収となりました。海外は、北米、アジアともに増収となり、全体でも増収となりました。

環境関連システム事業

- ・環境システム = 「汎用集塵機、ミストコレクター、大型集塵装置、粉粒体空気輸送システム、脱臭システム、業務用空気清浄機」
- ・クリーンシステム = 「業務用掃除機、自動床洗浄機、清掃ロボット、木材床研磨機器、清掃受託、電解水生成装置」

当事業の売上高は、28,609百万円で、前年同期比2,290百万円の増収（8.7%増）となりました。事業部門別の状況は以下のとおりであります。

・環境システム 17,726百万円（前年同期比7.4%増）

国内は、アマノ単体が汎用機は減少、大型システムは増加となり、全体では横這いとなりました。海外は北米、アジアともに増収となり、全体でも増収となりました。

・クリーンシステム 10,882百万円（前年同期比11.0%増）

国内は、アマノ単体が清掃ロボット、メンテ・サプライの増加により増収となりました。海外は、北米が増収となり、全体でも増収となりました。

(参考情報)

【所在地別情報】

(単位：百万円)

	売上高				営業利益又は営業損失(△)			
	第3四半期累計期間		増減	増減率 (%)	第3四半期累計期間		増減	増減率 (%)
	2024年 3月期	2025年 3月期			2024年 3月期	2025年 3月期		
日本	61,006	65,440	4,433	7.3	12,310	14,430	2,120	17.2
アジア	22,761	30,086	7,325	32.2	1,585	1,949	363	22.9
北米	15,351	19,265	3,913	25.5	△68	248	316	—
欧州	9,700	11,955	2,254	23.2	1,479	1,542	63	4.3
計	108,819	126,747	17,928	16.5	15,306	18,170	2,863	18.7
消去 又は全社	△1,028	△831	—	—	△2,725	△2,961	—	—
連結	107,791	125,916	18,124	16.8	12,581	15,209	2,627	20.9

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国、フィリピン、ベトナム

(2) 北米……………アメリカ、カナダ、メキシコ

(3) 欧州……………フランス、ベルギー、スペイン

【海外売上高】

(単位：百万円)

	海外売上高				連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)		
	第3四半期累計期間		増減	増減率 (%)	第3四半期累計期間		増減
	2024年 3月期	2025年 3月期			2024年 3月期	2025年 3月期	
アジア	22,930	30,107	7,176	31.3	21.3	23.9	2.6
北米	14,482	17,999	3,516	24.3	13.4	14.3	0.9
欧州	9,382	11,373	1,990	21.2	8.7	9.0	0.3
その他の 地域	920	1,558	637	69.3	0.9	1.3	0.4
計	47,715	61,038	13,322	27.9	44.3	48.5	4.2
連結売上高	107,791	125,916					

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国、フィリピン、ベトナム

(2) 北米……………アメリカ、カナダ

(3) 欧州……………フランス、ベルギー、スペイン

(4) その他の地域……中南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、183,799百万円(前連結会計年度末比785百万円減少)となりました。

- ・流動資産：受取手形、売掛金及び契約資産や有価証券の減少等により1,310百万円減少
- ・固定資産：ソフトウェア仮勘定の増加等により524百万円増加

負債は、55,187百万円(前連結会計年度末比1,294百万円減少)となりました。

- ・流動負債：電子記録債務及び未払法人税等の減少等により1,430百万円減少
- ・固定負債：リース債務の増加等により136百万円増加

純資産は、128,612百万円(前連結会計年度末比509百万円増加)となりました。

- ・株主資本：配当金の支払や自己株式の取得等により54百万円減少
- ・その他の包括利益累計額：為替換算調整勘定の増加等により514百万円増加

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、51,515百万円と前連結会計年度末に比べ133百万円減少いたしました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、17,112百万円(前年同期比1,057百万円の収入の増加)となりました。

- ・主な収入：
税金等調整前四半期純利益17,530百万円の計上、減価償却費8,153百万円の計上、売上債権及び契約資産の減少額2,983百万円の計上、利息及び配当金の受取額1,108百万円の計上
- ・主な支出：
法人税等の支払額6,273百万円の計上、仕入債務の減少額3,141百万円の計上、棚卸資産の増加額1,176百万円の計上

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,878百万円(前年同期比5,022百万円の支出の減少)となりました。

- ・主な収入：
定期預金の払戻による収入8,148百万円の計上、有価証券の償還による収入3,050百万円の計上、投資有価証券の売却による収入1,816百万円の計上
- ・主な支出：
定期預金の預入による支出7,676百万円の計上、有形固定資産の取得による支出3,318百万円の計上、無形固定資産の取得による支出2,014百万円の計上、投資有価証券の取得による支出1,206百万円の計上

財務活動によるキャッシュ・フローは、△15,627百万円(前年同期比1,157百万円の支出の減少)となりました。

- ・主な収入：
セール・アンド・リースバックによる収入1,907百万円の計上
- ・主な支出：
配当金の支払額10,488百万円の計上、リース債務の返済による支出5,795百万円の計上、自己株式の取得による支出1,953百万円の計上

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期は、好調な業績が継続し、前年同期比で増収増益となりました。通期の業績予想につきましては、当初計画を上回る見込みですが、その額については国内最需要期の3月業績の変動幅が大きいことを考慮して精査中であるため、現時点では2024年4月25日に公表いたしました2025年3月期通期業績予想を変更しておりません。今後、業績予想数値が確定次第、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,577	62,183
受取手形、売掛金及び契約資産	36,038	33,214
有価証券	2,725	1,335
商品及び製品	5,672	6,159
仕掛品	916	1,252
原材料及び貯蔵品	8,601	9,042
その他	4,753	6,783
貸倒引当金	△393	△390
流動資産合計	120,892	119,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,369	8,235
機械装置及び運搬具（純額）	961	1,027
工具、器具及び備品（純額）	2,689	3,287
土地	5,743	5,743
リース資産（純額）	12,603	12,833
建設仮勘定	728	504
有形固定資産合計	31,096	31,632
無形固定資産		
のれん	1,884	1,550
ソフトウェア	3,241	3,245
ソフトウェア仮勘定	1,421	2,183
その他	2,196	2,013
無形固定資産合計	8,742	8,993
投資その他の資産		
投資有価証券	16,764	16,521
破産更生債権等	471	480
差入保証金	1,872	1,900
退職給付に係る資産	142	135
繰延税金資産	2,071	2,140
その他	3,007	2,898
貸倒引当金	△476	△484
投資その他の資産合計	23,853	23,592
固定資産合計	63,693	64,217
資産合計	184,585	183,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,979	6,597
電子記録債務	6,533	3,800
短期借入金	94	885
リース債務	5,407	5,731
未払法人税等	4,100	3,072
賞与引当金	2,973	1,396
役員賞与引当金	200	-
その他	19,001	22,375
流動負債合計	45,289	43,859
固定負債		
リース債務	8,356	8,522
繰延税金負債	23	4
退職給付に係る負債	1,721	1,533
株式給付引当金	407	534
役員株式給付引当金	315	281
資産除去債務	35	35
その他	332	415
固定負債合計	11,192	11,328
負債合計	56,482	55,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,293	19,293
利益剰余金	94,510	96,210
自己株式	△12,668	△14,422
株主資本合計	119,374	119,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,740	4,656
為替換算調整勘定	3,253	3,819
退職給付に係る調整累計額	231	264
その他の包括利益累計額合計	8,226	8,740
非支配株主持分	502	551
純資産合計	128,103	128,612
負債純資産合計	184,585	183,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	107,791	125,916
売上原価	59,225	69,990
売上総利益	48,565	55,925
販売費及び一般管理費		
販売費	33,056	37,691
一般管理費	2,928	3,023
販売費及び一般管理費合計	35,984	40,715
営業利益	12,581	15,209
営業外収益		
受取利息	489	654
受取配当金	221	272
受取保険金	35	62
為替差益	19	-
持分法による投資利益	135	107
その他	293	432
営業外収益合計	1,194	1,529
営業外費用		
支払利息	217	240
為替差損	-	46
その他	87	118
営業外費用合計	304	406
経常利益	13,470	16,332
特別利益		
固定資産売却益	8	9
投資有価証券売却益	-	1,231
特別利益合計	8	1,240
特別損失		
固定資産除却損	60	32
固定資産売却損	35	0
訴訟和解金	-	9
その他	5	0
特別損失合計	102	42
税金等調整前四半期純利益	13,377	17,530
法人税等	4,195	5,215
四半期純利益	9,181	12,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,094	12,187

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	9,181	12,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,198	△84
為替換算調整勘定	4,202	597
退職給付に係る調整額	88	32
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	5,489	546
四半期包括利益	14,670	12,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,561	12,701
非支配株主に係る四半期包括利益	108	159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,377	17,530
減価償却費	7,544	8,153
のれん償却額	209	358
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	174	△141
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	120	180
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	66	113
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△42	△1
受取利息及び受取配当金	△710	△927
持分法による投資損益 (△は益)	△135	△107
支払利息	217	240
為替差損益 (△は益)	△79	68
固定資産売却損益 (△は益)	27	△9
固定資産除却損	60	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△1,231
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,946	2,983
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,534	△1,176
仕入債務の増減額 (△は減少)	213	△3,141
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,710	3,006
その他	△1,936	△3,452
小計	21,230	22,479
利息及び配当金の受取額	864	1,108
利息の支払額	△221	△235
法人税等の支払額	△5,836	△6,273
法人税等の還付額	20	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,055	17,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,450	△950
有価証券の償還による収入	2,450	3,050
有形固定資産の取得による支出	△2,331	△3,318
有形固定資産の売却による収入	129	33
無形固定資産の取得による支出	△1,901	△2,014
投資有価証券の取得による支出	△304	△1,206
投資有価証券の売却による収入	-	1,816
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,134	-
定期預金の預入による支出	△10,038	△7,676
定期預金の払戻による収入	8,930	8,148
その他	△250	238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,901	△1,878

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	77	908
短期借入金の返済による支出	△230	△94
自己株式の取得による支出	△3,718	△1,953
リース債務の返済による支出	△5,058	△5,795
セール・アンド・リースバックによる収入	1,434	1,907
配当金の支払額	△8,764	△10,488
非支配株主への配当金の支払額	△526	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,784	△15,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,543	259
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,087	△133
現金及び現金同等物の期首残高	55,084	51,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,997	51,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式495,700株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による増加を含め自己株式が1,754百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が14,422百万円となっております。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式には、役員報酬BIP信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として保有する当社株式721,481株を含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員報酬BIP信託及び従業員向け株式給付信託について)

当社及び一部子会社では、中長期的な業績向上と企業価値の増大への貢献意欲を高めることを目的として、取締役（社外取締役、国外居住者を除く。）及び執行役員（国外居住者を除く。）を対象に役員報酬BIP信託を、また、一定の要件を満たした従業員を対象に従業員向け株式給付信託の制度を導入しております。

①取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託を設定し、信託を通じて当社株式の取得を行い、対象者に給付する仕組みであります。なお、役員報酬BIP信託については、2023年4月から開始した第9次中期経営計画期間に連動した株式報酬制度として当初の信託期間と同一期間信託期間を延長し、本信託の内容を一部改定のうえ継続しております。

役員報酬BIP信託については、取締役及び執行役員に対し、株式交付規程に従って、その役位及び経営指標に関する数値目標の達成度に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を交付する仕組みであります。

従業員向け株式給付信託については、一定の要件を満たした従業員に対し、株式給付規程に従って、その役職及び業績等に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を給付する仕組みであります。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。

自己株式の帳簿価額及び株式数

当第3四半期連結会計期間末	2,068百万円、721,481株
---------------	-------------------

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	時間情報 システム事業	環境関連 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,472	26,319	107,791	—	107,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	81,472	26,319	107,791	—	107,791
セグメント利益	12,074	3,296	15,370	△2,789	12,581

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,789百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	時間情報 システム事業	環境関連 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	97,306	28,609	125,916	—	125,916
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	97,306	28,609	125,916	—	125,916
セグメント利益	15,119	3,037	18,157	△2,948	15,209

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,948百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。